

標準委員会 システム安全専門部会 炉心燃料分科会

第7回 (S1SC7) 議事録

日 時： 2012年2月9日(木) 13:30～15:45

場 所： 東京都 日本原子力技術協会 A、B会議室

出席者： 阿部(弘)主査(東北大)、馬場副主査(JNES)、矢野幹事(原技協)、
真寄PWR幹事(関電)、岩本委員(GNF)、加藤委員(東芝)、河村委員(電中研)、
北島委員(電中研)、黒埼委員(阪大)、杉山委員(JAEA)、関委員(MNF)、
土内委員(NFI)、長谷川委員(東大)、渡辺代理(久持委員(日立GE))、
北嶋代理(福山委員(原電))、森下委員(京大)、山中(東電)、小川(純)(MHI)

計18名

常時参加者： 久保(NFI)、谷口(NFI)、高野(MNF)、佐々木(安全委)、平川(原技協)
溝上(東電)、福田(MHI)、近藤(日立GE)

傍聴者： 金子(GNF)

(敬称略)

議題

1. 出席者/資料確認
2. 第6回分科会議事録(案)の確認
3. 人事について(案)
4. 炉心燃料分科会の今後の活動について
5. システム安全専門部会への状況報告について
6. その他

配布資料：

- S1SC7-1 第6回分科会議事録(案)
- S1SC7-2 人事について(案)
- S1SC7-3-1 炉心燃料分科会における標準策定の今後の進め方について
- S1SC7-3-2 L U A標準策定に向けた検討の経過について
- S1SC7-3-3 学会標準 炉心燃料システム安全設計ガイドラインの策定について
- S1SC7-4 システム安全専門部会における標準策定スケジュール(2011年度以降)
- S1SC7-5 先行少数体使用燃料(L U A)標準に関するプラントメーカー見解について

参考資料

- 参考1 「システム安全専門部会における燃料安全を含めた今後の課題とその進め方について(その3)」
- 参考2 「原子力発電所における少数体先行使用燃料の導入に係る実施基準:201X(仮称)」の骨子案について
- 参考3 「原子力発電所における少数体先行使用燃料の導入に係る実施基準:201X(仮称)」について
- 参考4 「燃料システムの安全性を確保するために考慮すべき設計基準」について

議事及び主な質疑応答

1 出席者確認

幹事より出席者数を確認し、本分科会の定足数を満たすことが報告された。

2 資料確認

幹事より議事次第に基づき、配布資料の確認を行った。

3 前回議事録(案)の確認について (S1SC7-1)

幹事より、第6回議事録(案)について報告され、承認された。

4 人事について(S1SC7-2)

幹事より資料 7-2 に基づき、委員及び常時参加者の交代が報告され、全員の賛成により小川(純)氏、山中氏を委員として選任した。また、植田氏、小川(明)氏、谷口氏、福田氏、近藤氏の常時参加者への登録が承認された。

- ①退任委員 有田誠二、巻上毅司
- ②新任委員 小川純人、山中康慎
- ③解除(常時参加者) 吉村邦広、小林冬実、小野慎二
- ④登録(常時参加者) 植田脩三、小川明彦、谷口良則、福田龍、近藤貴夫

5 LUA標準案の検討

(1) 炉心燃料分科会の今後の活動について(S1SC7-3-1~3-3)

幹事より、資料 S1SC7-3-1 に基づき、分科会としての今後の活動計画について、また、谷口氏より資料 S1SC7-3-2 に基づき、これまでの LUA 標準策定の経緯等について、更に、近藤氏より資料 S1SC7-3-3 に基づき、今後策定を目指す標準(炉心燃料システム安全設計ガイドライン(仮称))の概要について説明され、活動の方針について議論を行った。その結果、次年度以降、LUA 標準の上位の標準(炉心燃料システム安全設計ガイドライン)を策定していくこと、及び現在の LUA 標準はこの上位標準の策定を踏まえて検討していくことが確認された。この標準の検討においては、対象とする分野が拡大することから、追加すべき専門家についても議論を行った。

6 システム安全専門部会への状況報告について(S1SC7-4)

幹事より、次年度以降の標準策定スケジュール案(S1SC7-4)が報告され、承認された。また、システム安全専門部会へは、上記資料(S1SC7-3-1~3-3)を用いて状況報告することが確認された。

7 その他

次回開催日は、5月下旬を目途とし、詳細日程は別途メールで調整することとした。

以上